

TEAM in BLUE

仙台市立仙台青陵中等教育学校

第4学年通信 No.10

R2. 6. 26

スタディサポート分析

スタサポとは？

進研模試・駿台模試等の全国模試とは異なり、普段の学習状況・生活状況と学力の関連を詳しく分析するのが主な目的です。特に過年度（過去5年間の青陵生）と比較して、学年全体の得意科目・苦手科目を把握し、これからの対策を考える上で重要な役割を果たします。

個人結果は配布しましたが、考査に集中していたので詳しく読んでいないと思います。8月の三者面談等で活躍する資料になります。大切に保管し、自分の長所・短所を把握しながら効率の良い学習習慣を築いてください。

TEAM in BLUE（本学年）の特徴

教科	学力レベル	学習レベル	長所	短所
国数英			は首都圏中堅国公立（偏差値 60）レベルです。平日平均学習時間は1時間7分、休日は2時間35分でした。は「学習レベルが追いついていないので、今後増やさないと心配です」というサインです。もう1step進むためにもう一步踏み出そう。	学力レベルと学習レベルに差があります。60人もの生徒が「学習習慣要注意型」です。1日10分増やしましょう。「星」も積もれば「山」となる。By 4の3
国語			現代文分野で良好な結果だったため、学習習慣のわりには高評価です。現文は、内容と読み手の知識・経験がうまく重なると好調・そうでないと低調な結果になります。つまり模試毎に波が出ます。偏差値に惑わされず普段の授業にしっかり取り組みましょう。	「古典分野が苦手」であると、誰でも一瞬で分析できるほど顕著に表れています。出題分野が限られていて、学習成果を発揮しやすいのは古典。点数もブレないのが古典です。
数学			過年度と比べ、最大の特徴であり今後長所になり得る科目が数学です。学力・学習レベルのバランスが整っていますね。3教科で一番時間を費やしているのもプラスポイント。今最も提出課題が多い科目ですが、提出率が下がらないよう学年全体で頑張りましょう。	特になし。 Now or Never!
英語			「青陵生は英語が一番得意」というこれまでの校風を覆すような結果でした。英語教員としてショック・・・というわけではありません。過年度より低いというわけでもありません。前期時代の学力推移調査の結果を見ても、伸びしろは十分にあります。	英語を得意と感じるの人14%、苦手と感じるの人26%。英語に関しては通常この数字は逆です。学力推移調査を分析しても心配する要素は多くはありません。意識改革を。

共通テスト（センター試験）で数学を70%以上得点できれば国公立大学は十分可能です。得た情報を分析し、様々な解法から適切なものを選び計算ミスをせずに答を導く。数学に必要な思考力や集中力はあらゆる科目で発揮されます。数学が得意なのに受験は失敗ということはありません。このまま継続しましょう。

三者面談について

休校の影響で夏休み前の全校集会は8月7日（金）です。3日～7日は午前授業＋午後三者面談の予定です。5年次に向けて科目選択の確認をしますが、家族と時間を取って話し合っておきましょう。スタディサポートや中間考査の結果を基に、現在の学力や学習・生活習慣についても話し合いますが、不安・心配事はこの期間に限らず、すぐに相談してください。

7月の予定

		午前	午後
1	水	(7月1日日本選抜希望申請書提出〆切)	
2	木		各種委員会
3	金		⑦生徒会について
4	土		
5	日		
6	月		13:30 心臓病検査
7	火	①みやぎ学力状況調査（学習状況のみ）	⑦総合：小論文の書き方
8	水		
9	木		
10	金		⑦生徒会執行部役員選挙
11	土	土曜学習会	
12	日		
13	月		
14	火		⑦総合：小論文の書き方
15	水	9:00～歯科検診	
16	木		
17	金		⑦離任式（教室） 考査成績表配布
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		⑦総合：小論文の書き方
22	水		
23	木	海の日	
24	金	スポーツの日	
25	土		
26	日		
27	月		各種委員会
28	火		⑥⑦総合：小論文模試
29	水		
30	木		
31	金		⑦授業アンケート

8月3日（月）～6日（木）4時間授業 ～ 三者面談

8月7日（金）2時間授業 ～ 全校集会 ～ 三者面談